

基本方針1 脱炭素型のまちを目指します(地球温暖化・気候変動への対応)

基本施策(施策の方向性)	基本施策(施策の方向性)の説明	現行計画の施策	施策に対する委員意見
省エネルギーの推進	各主体による日常生活や事業活動における省エネルギー行動の実践や、省エネ型の製品・設備の使用等の促進により、温室効果ガスの削減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費量の削減 高効率なエネルギーの利用推進 学校のエコスクール化の推進 公用車における温暖化対策の推進 公共施設の地球温暖化対策の推進 	
再生可能エネルギー導入促進	情報発信や助成制度の検討により、市民や事業者による再生可能エネルギーの導入を促進します。また、公共施設における太陽光発電・太陽熱利用システムの導入を推進します。		
新技術の普及促進	温室効果ガス排出量の削減に効果的な再生可能エネルギー由来の水素について普及啓発するとともに、その利活用について検討を進めます。また、家庭用燃料電池、業務・産業用燃料電池の普及を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> 新エネルギーの利用促進 公共施設の地球温暖化対策の推進(再掲) 	<p>「水素エネルギーの普及促進」のみ他と比べて具体的であり、唐突な感じがする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広く新しい技術で地球温暖化を防止する方向性を進めていくような表現のほうがよい。 「省エネ」と「再生可能エネルギー」に続く順番となるのが良いのではないか。 「脱炭素型の暮らしを実現する新技術の導入の促進」あるいは「支援」といった言葉にしたほうが良いのではないか。 「新技術の普及促進」、あるいは「導入の普及促進」とし、蓄電池や水素エネルギーについては、基本施策の説明の部分に具体的に書けば良いのではないか。 標題としては包括的に「新技術の導入促進」としたら良いのではないか。
環境に配慮したまちづくりと行動	適切な土地利用の誘導や環境に配慮した道路や公園の整備、まちづくりと一体となった建物のエネルギーマネジメントの推進、公共交通機関や自転車の利用しやすい環境の整備を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な土地利用の誘導 土地利用誘導のための仕組みづくり 公共交通機関、自転車等の利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「環境に配慮したまちづくりを目指します」は環境基本計画に入れるべきだと思う。 車、ごみ、フロンガスといった具体的に施策に落とせるものをどれか1つ入れてはどうか。 「環境に配慮した行動の推進」として、ソフト面の内容としていくのが良いのではないか。 「(都市・建物・交通)」を削除すれば良いのではないか。 「地球温暖化に配慮したまちづくりと生活様式を推進する」といった表現ではどうか。 基本施策の文言は長くしない方が良いので、「環境に配慮したまちづくりと行動」にとどめてはどうか。
気候変動への地域対応	市内における気候変動による影響について、実態把握を行うとともに、情報収集や水害対策、熱中症対策等の適切な対応を検討・実施します。		<ul style="list-style-type: none"> 基本方針2は、気候変動が無いようにするという事なので、適応策を基本方針2の中に入れてなくても良いのではないか。 「気候上昇を抑える緑のまちづくり」にするといった表現で残してはどうか。 災害時に、避難場所にエネルギーを確保する必要があるため、残しておくべきではないか。 単に「気候変動への対応」ではなく、「気温上昇への地域対応」というように「地域」という言葉を入れてはどうか。 「気温上昇」よりも、温暖化も寒冷化も幅広く含む「気候変動」のほうが良いのではないか。